

硬毛共①手本はあくまでも参考手本であり、点画は全くそのとおりでなくてもよい。

②点画の長短、方向、接し方、交わり方等が正しく、字形が整っている。

③文字の大きさや字間が適切で、文字の中心がすつきり通っている。

④伸びのある線で堂々とかいてあり、発達段階に相応した子どもらしい作品である。

⑤文字部分と余白部分の調和を図って書いている。
(低学年では、多少文字部分が大きくてもよい)

⑥名前の位置、大きさ、形、筆力等が本文とよく調和している。

⑦誤字や脱字がなく、補筆や敷き写し等の不正と思われる手段を使っていない。

硬 筆①県習教推薦の鉛筆や書き方ペン等、発達段階に応じた適切な用具を使用している。

②極端に、毛筆的筆法、特に始筆、送筆にひっかけや筆圧の変化をつけていない。

毛 筆①基本点画（止め、はね、払いなど）を正しい筆使いで書いている。

②線に筆力があり、紙面に調和よく収めている。

③適度な墨量で一字以上を一筆で書き、筆脈が通っている。

④緩急や筆圧等の変化が適切である。

